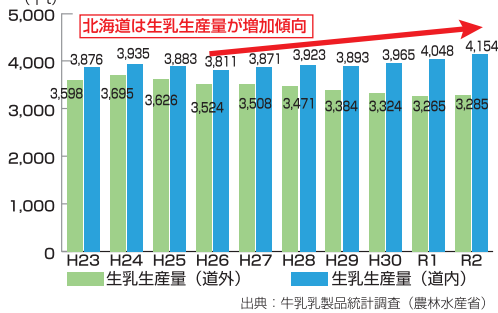
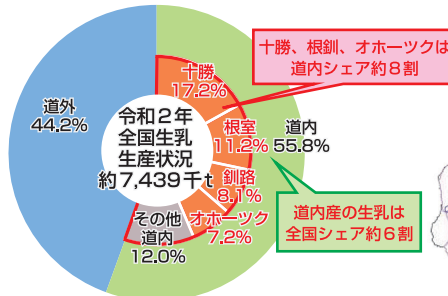


北海道は我が国の食料供給基地であり、農畜水産物を国内外へ安定的に供給するため、高規格道路ネットワークの構築が不可欠です。道内における生乳の生産量および全国シェアは、年々増加傾向にあり、全国シェアは約6割を占めています。このうち、十勝、根釧およびオホーツク地域は、道内における生産量の約8割を占める一大生産地であり、道外へ生乳や乳製品を出荷する際には、道東自動車道や十勝オホーツク自動車道などを經由して、苫小牧港や小樽港まで運ばれています。高規格道路ネットワークの整備により、新鮮な生乳の輸送が可能となるなど、北海道産乳製品のブランド力向上を支えています。

### ▼生乳生産量の推移



### ▼生乳生産状況



### ▼生乳の道外への輸送ルート



▲メガファームの搾乳状況 (十勝管内)

高規格道路	通行ルート	
	供用中	2車線4車線以上
高規格道路	事業中	●●●●●
	調査中	○
国道	供用中	—
	事業中	*****

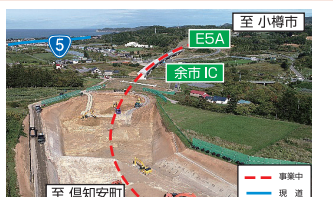
# 強靱で持続可能な国土の形成

### 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

#### 北海道における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の推進

政府は防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間で、重点的かつ集中的に講ずる対策を定めた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を令和2年12月に閣議決定しました。道路事業においては、5か年の具体的な事業進捗見込み等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的として、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（北海道ブロック版）」を令和3年4月に策定し、以下の取組を重点的かつ集中的に実施します。

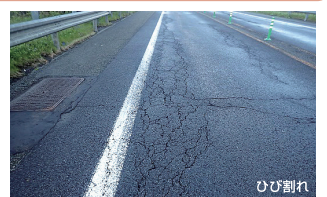
#### ▼災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化



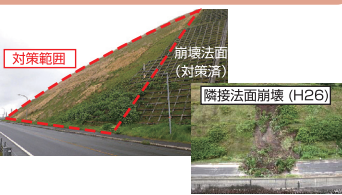
#### ▼河川隣接構造物の流失防止対策



#### ▼道路施設の老朽化対策



#### ▼道路路面・盛土の土砂災害防止対策



#### ▼高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水対策



#### ▼無電柱化対策



#### ▼ITを活用した道路管理体制の強化対策

